

実習指導者に関する調書(記入例)

実習施設名	〇〇〇〇苑 (特別養護老人ホーム)			
氏名	フリガナ:	・登録証等の登録年月日を記入する。 ・登録証等の写しを添付する。	性別	男 ・ 女
	生年月日		年齢	
社会福祉士資格取得の有無	(有) 無			
資格の取得年月日	平成〇年〇月〇日			
実習指導者講習会	①. 修了 (修了年月: 令和 3年 12月) ②. 未修了		区分を記入 (注2参照)	
従事している業務内容	生活相談員			
実習指導者資格要件	区分		①	
	名 称		業務内容	年 月
	施設種別	身体障害者療護施設	生活指導員 (相談援助業務)	令和元年12月1日 ~
	〇〇〇園			令和4年3月31日
				2年4ヶ月
	施設種別	特別養護老人ホーム	生活指導員 (相談援助業務)	令和4年4月1日 ~
	〇〇〇〇苑			現在
				1年5ヶ月
	施設種別			~
	・施設種別、施設名を明記する。		・業務内容のみ記入。役職名は不要。	・資格取得後の年月を記載すれば足りるものであること。 ・在職中の場合、「現在」と記入
施設種別				
施設種別				
施設種別			~	
合 計			3年9ヶ月	

(注1) 各実習指導者ごとに作成すること。

(注2) 「区分」欄については、実習指導者が

- ・ 社会福祉士資格の資格取得後、3年以上の実務経験を有する者であって、実習指導者講習会を修了した者にあつては①と、
- ・ 児童福祉司等として8年以上の実務経験を有する者にあつては②と、
- ・ 厚生労働大臣が認める講習会を修了した者にあつては③と、記載すること。

(注3) 実習指導者講習会を修了した者については、当該講習会の修了証の写しを添付すること。

(注4) 「社会福祉士資格取得の有無」欄に有と記載した場合については、社会福祉士登録証の写しを添付すること。

(注5) 実務経験の対象となる業務は、「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について」(昭和63年2月12日付け社庶第29号)を参照のこと。

相談援助業務に従事した期間のみ  
合計年数を記入。